

日本被団協ノーベル平和賞受賞記念

ヒロシマ・ナガサキの証言

主催：北海道被爆者協会

被爆二世プラスの会北海道

日本被団協が今年のノーベル平和賞を受賞しました(授賞式12月10日)。いままで何度も期待されながら授賞されることはありませんでした。しかし、ロシアのウクライナ軍事侵攻をはじめ核兵器をめぐる世界の情勢がかつてなく緊迫しており、ノーベル賞委員会はいまこそ被爆者の「出番」だと考えたのでしよう。授賞理由は言います、被爆者の長年の証言活動は「核のタブー」をゆるぎない国際規範にしてきた、と。



ノーベル賞授賞式を前に、被爆者が語る、そして被爆二世、高校生が被爆者の証言を継承しようとしている、ぜひ“ヒロシマ・ナガサキの証言”の“いま”をお聞き下さい。会場には札幌南高校(定)生徒の「長崎平和祈念像」のモザイク画も展示されます。

日時 12月3日(火) 13:00～ 12月4日(水) ～15:00

会場 北海道庁 1F ロビー・交流広場

12月3日

14:00 会長(廣田凱則)挨拶

14:15 大村一夫

14:45 川去裕子(被爆二世) ～15:15

12月4日

10:30 金子廣子

11:00 宮本須美子・松本郁子 ～11:45

14:00 朗読劇「あの日 あの時 ヒロシマで」
札幌南高校(定)生徒有志

15:00 撤去